

# CopeLab.

コペラボ

つむぐ。創造を研究と

ライフサイエンス分野において「今まで考えもつかなかった研究」、  
「今後、大きなイノベーションを起こす可能性がある研究」に取り組んでいる第一線の研究者から、  
最先端研究者のご紹介で繋ぐ、リレー形式のシリーズセミナーです。  
研究内容や、その目標に向けた取り組みについてご講演いただきます。

オンライン講座

Zoom  
ウェビナー

無料

## 開催日程

第 15 回 2024年6/6(木) 17時～18時

第 16 回 2024年6/20(木) 17時～18時

## お申込み

右記QRコードからアクセスしお申し込みください

QRコード(Peatixサイト)から申込みできない方はメールでお問い合わせください  
メールアドレス: [event@copelcs.jp](mailto:event@copelcs.jp)

第 15 回



第 16 回



## 講師紹介

第 15 回 倉恒 弘彦 氏

大阪公立大学大学院医学研究科 客員教授  
大阪大学大学院医学系研究科 招へい教授



**疲労の実態と客観的評価法-特に自律神経機能評価の軌跡**  
本講演では、日本における疲労の実態や客観的な疲労評価法について紹介する。特に、自律神経機能の評価は、簡便かつコスト効率の良い方法として注目されている。この評価法は、地域住民や従業員の健康管理に有効であり、事故リスクの低減にも寄与している。今回は、その評価方法、企業での導入事例や、自律神経機能評価がどのようにして広まったかの軌跡についても紹介する。

第 16 回 古江 秀昌 氏

兵庫医科大学 生理学神経生理部門  
主任教授



**精神・意識レベルで増減する感覚神経応答の中核メカニズム**  
生体が外界から体性への感覚刺激や味覚・嗅覚などの化学刺激を受容すると、脳では刺激強度に応じて神経活動が上昇する。しかし、感覚の脳における反応は意外にも常に一定ではなく、精神や意識レベルによって容易に増減する。本講演では、快・不快など情動や意識レベルに関与する脳神経回路を人為的に活動操作する最新の研究結果を紹介し、感覚の応答が中枢で調節される神経機構の詳細を述べる。

主催：株式会社 COPEL コンサルティング 後援：一般社団法人日本疲労学会 協力：神戸リサーチコンプレックス協議会

次回予告

第 17 回 2024年7月4日(木) 竹山 春子 氏(早稲田大学大学院先進理工学研究所 生命医科学専攻 教授)

第 18 回 2024年7月18日(木) 小川 順 氏(京都大学 農学研究科 応用生命科学専攻応用微生物学講座 教授)